



令和7年度に企業版ふるさと納税を活用し ご寄付いただいた企業様へ

ご寄附充当事業実績報告書

1.企業版ふるさと納税について

- 日頃より兵庫県政の推進に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
令和7年度は、企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただき、誠にありがとうございました。
- 令和8年度も更なるプロジェクトの拡充を図っていきたいと考えておりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いします。

寄附対象事業一覧

01	大学教育環境の充実コース ①兵庫県立大学応援プロジェクト ②芸術文化観光専門職大学応援プロジェクト ③グローバルビジネスコース留学生支援プロジェクト
02	ひょうごの魅力アップコース ④兵庫県への移住を促進！ひょうご五国の魅力情報発信プロジェクト
03	ひょうごボランティア被災地活動支援コース ⑤ひょうご若者被災地応援プロジェクト ⑥大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト
04	ひょうごpremiumアート&スポーツチャレンジコース ⑦ひょうごプレミアム芸術デー応援プロジェクト ⑧兵庫陶芸美術館応援プロジェクト ⑨芸術文化センター応援プロジェクト ⑩神戸マラソン開催応援プロジェクト ⑪プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト ⑫子ども・ユーススポーツ等推進プロジェクト
05	ウクライナ支援コース ⑬ひょうごウクライナ支援プロジェクト～ひょうごはウクライナとともに～
06	一人ひとりに寄り添った福祉応援コース ⑭子ども食堂・ヤングケアラー等応援プロジェクト ⑮課題を抱える妊産婦プロジェクト ⑯児童養護施設や里親の下で育つ子ども応援プロジェクト ⑰小児筋電義手バンク応援プロジェクト ⑱障害者（児）スポーツ等応援プロジェクト
07	ちいさないのちを大切にコース ⑲子犬・子猫の飼い主探し等応援プロジェクト ⑳先天性サイトメガロウイルス感染症調査研究事業プロジェクト

08	地域経済・産業振興コース ㉑神戸ルミナリエ開催応援プロジェクト ㉒若者起業人材育成プロジェクト
09	HYOGO高校生「海外武者修行」応援コース ㉓HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト
10	里山・里海再生支援コース ㉔但馬地域におけるイヌワシ・エイドプロジェクト ㉕「豊かで美しいひょうごの海」を未来へつなぐ ㉖森林動物研究センター魅力発信等強化プロジェクト
11	御食国ひょうご・森林資源の支援コース ㉗「森林の恵み」をフル活用できる森林林業人材育成プロジェクト ㉘播磨灘の牡蠣応援プロジェクト
12	県立都市公園リニューアルコース ㉙明石公園第一野球場・陸上競技場リニューアルプロジェクト
13	地域の元気アップ応援コース ㉚西播磨の山城登山道整備プロジェクト
14	学校環境充実応援コース ㉛県立学校環境充実応援プロジェクト ㉜GIGAスクール運営支援センター設置プロジェクト ㉝「体力アップひょうご」サポートプロジェクト ㉞お米de部活応援！プロジェクト
15	県立美術館・博物館等応援コース ㉟県立美術館・博物館等応援プロジェクト ㊱コウノトリ野生復帰プロジェクト
16	安全安心な暮らし応援コース ㊲犯罪被害者支援プロジェクト ㊳暴力団事務所撤去応援プロジェクト ㊴子供・女性・高齢者見守り活動支援プロジェクト



兵庫県立大学応援プロジェクト

1 目的・概要

6 学部、9 大学院研究科、5 附置研究所、附属中学校・高等学校を有する**全国屈指の公立総合大学としての強み**を生かし、学部・キャンパス・分野を横断した先端・学際的な教育研究の推進や社会貢献活動・国際交流活動の支援、学生生活をより快適に過ごせるキャンパス環境の整備など、**魅力ある大学づくり**に積極的実施

2 令和7年度の取組内容

- 県が整備した新長田キャンパスプラザ 5 階に、兵庫県立大学の新長田ランチを令和 7 年 1 月にオープン。今後、産官学連携の拠点として、社会人を対象としたリカレント教育や、ICT 活用に向けたリスキリングプログラムを開講するほか、大学発ベンチャーの起業、新事業創出支援等を行っていくため、企業や商工業団体等と連携するための環境整備を実施
- ニュースバル放射光施設を活用した最先端の半導体用微細加工技術の研究開発に取り組むにあたり、同施設の安定稼働を確保するための整備を実施
- 各キャンパス・附属学校においても図書の実質や教育環境の整備を実施

3 令和8年度の取組方針

項目	内容
①国際交流の推進	海外インターンシップ、海外拠点の設置等
②教育の充実	教育環境の整備、県民のリスキリング講座開設等
③学術の奨励	次世代半導体研究、国際会議開催経費等
④地域貢献活動の推進	地域や産業と連携した新しい社会価値創造への支援等
⑤附属学校の教育活動等支援	附属学校におけるクラブ活動の環境整備等



【プロジェクト大学からのメッセージ】



県立 3 大学が統合し、兵庫県立大学創立から 21 年を迎えました。本学の更なる飛躍につなげるため、次の時代を牽引する学生のみなさんの学修環境の充実に役立てます。引き続きご支援をお願いします

芸術文化観光専門職大学応援プロジェクト

1 目的・概要

1学部1学科で**芸術文化と観光を学ぶ全国初となる「芸術文化・観光学部」の強み**を生かし、地域社会をフィールドとした実習や実践教育、分野を横断し地域活性化に資する研究の推進、地域の多様な主体と協働した地域貢献活動を実施

2 令和7年度の実施内容

- 海外実習等の国際交流プログラムに参加する学生の負担軽減のため、現地滞在費の一部を助成
(※海外実習(独) 35千円/人、海外語学研修 49千円/人)
- 学生のキャリア支援のため、TOEICなどの各種資格取得に要する受験料の一部を助成(5千円/人)
- 物価高騰による学生の経済的負担軽減及び充実した修学の支援のため、お米券を学生に配布(5千円/人)

3 令和8年度の実施方針

項目	内容
①教育の充実	臨地実務実習やICTを活用した教育の推進等
②学術の奨励	国内外の大学等との交流・連携支援等
③国際交流の推進	海外実習や語学研修等への支援
④地域貢献活動の推進	地域や産業と連携して行う活動への支援



©トモカネアヤカ

[プロジェクト大学からのメッセージ]



本学は地域とともにある大学を目指しており、地域社会をフィールドとした実習や地域貢献活動を行っています
本学の教育・研究活動を支えるため、皆様のあたたかいご支援をお願いします



グローバルビジネスコース留学生支援プロジェクト

1 目的・概要

兵庫県立大学国際商経学部グローバルビジネスコースでは、世界中から集まった留学生と日本人学生が、全科目を英語で学び、学生寮で共同生活を送るなど、**日常的に国際感覚・国際コミュニケーション能力を養いながら、グローバル社会で活躍できる人材を育成**

各国から熱意ある学生が集まりつつあるが、アジア圏においては成績は優秀であっても経済的には厳しい環境下で生活している学生も多いため、「留学生の負担を軽減し、安心して新生活をスタートできるよう応援する支援」を実施

2 令和7年度の実施内容

- 外国人留学生の負担軽減のため、給付型の「スタートアップ奨学金」を給付
留学生一人当たり：10万円
令和7年度支援実績：GBC留学生32名



3 令和8年度の実施方針

今後、更に多くの国からの**優秀な留学生受入れ**や、日本語教育・日本文化の理解を深めるための事業を引き続き実施します

[プロジェクト大学からのメッセージ]



将来日本やグローバル社会で活躍する、優秀な留学生の確保・育成のため、企業の皆様の支援・ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします

ひょうご五国の魅力発信プロジェクト

1 目的・概要

兵庫県にゆかりや関心のある方に、「ひょうご五国の魅力」を発信する「ひょうごe-県民制度」を通して、**新たなひょうごファンを増やし、交流・関係人口の増加や移住促進につなげることで、地域の活性化を図る**

2 令和7年度の実績内容

● ひょうごe-県民制度への登録促進に向けた取組【成果：登録者数 82,782名達成（対R6年度+300名）】

- ・ 県公式移住情報ウェブサイト「兵庫で暮らせば・・・」のコンテンツの充実化
 - 県や市町の移住促進に向けた記事の作成・掲載（計135本）
 - 移住セミナー等の体験レポート記事の作成（計19本）
- ・ 県産品プレゼントキャンペーンの実施
 - ウェブサイトの記事閲覧で獲得できるポイントで応募可能なプレゼントキャンペーンの実施（計3回、当選者数延べ230名）



移住セミナーの体験記事



移住者インタビューの記事



キャンペーンのバナー

※R8.2.27 時点の実績値

3 令和8年度の実績方針

ウェブサイトの操作性・視認性の向上や、コンテンツのさらなる充実化により情報発信に取り組むことで、兵庫県の交流・関係人口の拡大に努めます。

【プロジェクト担当者のメッセージ】



皆様のご支援により、兵庫県の交流・関係人口の増加に向け、様々な施策を実施できました。引き続き、応援をよろしくお願い致します！

ひょうご若者被災地応援プロジェクト

1 目的・概要

ひょうごの若者に被災地でのボランティア活動のノウハウを継承し、**被災地支援を担う若者の人材育成**を行うとともに、被災者生活再建支援制度の適用対象となった**被災地の復興を応援**

2 令和7年度の実施内容

県内の高校・大学の学生など**ひょうごの若者**が、**全国の被災地で取り組んだ活動**に対して、**交通費や宿泊費、活動費**を支援

助成対象：17団体・201人（R8.2月時点）

対象災害：東日本大震災、能登半島地震 など

対象活動：コミュニティ活動支援、傾聴・交流活動、清掃活動 など

活動者の声

* 簡単な遊びでも被災地の子どもたちの心は解放され、一瞬でも震災の辛さを忘れ、純粋な笑顔をみせてくれました。

* 復興はまだ道半ばであること、そして今後も「現地で支援すること」と「見たこと・感じたことを伝え続けること」の両方が重要であると気づくことができました。



地域フェスティバルの開催



井戸堀りボランティア



清掃活動



イチジク農園の収穫支援



花火大会の運営支援

3 令和8年度の実施方針

引き続き本プロジェクトを通して、ひょうごの若者が多くのことを経験し、全国の支援を必要としている人々との継続的な交流による繋がりが、今後ますます広がっていくように支援していきます

[プロジェクト担当者のメッセージ]



ひょうごの未来を担う多くの若者が、被災地支援を通しボランティア活動のノウハウを経験できるよう、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

大規模災害ボランティア活動支援プロジェクト

1 目的・概要

災害の頻発化・激甚化が進むなか、災害支援人材の育成は急務。**被災地の早期復旧に向けたボランティア活動を支援**することで、社会全体で災害ボランティアを支える仕組みづくりを推進

2 令和7年度の実施内容

令和6年能登半島地震の被災地を支援するため、**能登半島地震復旧応援枠を創設**し、兵庫県から直接災害ボランティアに赴く団体・グループに対して**交通費や宿泊費などを助成**

- 助成対象：令和6年度～7年度（R8.2月時点）にかけて**51団体・のべ620人**
- 対象災害：令和6年能登半島地震（石川県珠洲市での活動）

活動者の声

＊ 阪神・淡路大震災を幼少期に経験し、その時の子どもながらの思いを胸に能登の被災地へ支援をされていた方もいました。
＊ 被災地の復旧復興への道のりは、まだまだだと改めて感じました。この経験をまわりの人に伝えていき、関心が薄れないようにしていけたらと思います。



被災地支援の様子

3 令和8年度の実施方針

引き続き本プロジェクトを通して、被災地の復旧活動を迅速かつ継続的に支援し、災害支援人材を育成することで、南海トラフ地震などの大規模災害に備えます。

【プロジェクト担当者のメッセージ】



被災地の一刻でも早い復旧のために何かをしたい人の気持ちを繋ぐプロジェクトです。引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

神戸マラソン開催応援プロジェクト

1 目的・概要

○大会テーマである「感謝と友情」の理念のもと、ロードレースラベルの取得等を実現し、**オンリーワンの都市型マラソン**を目指す

2 令和7年度の取組内容

- 海外インフルエンサーを起用してPRを実施し、海外からの参加者が過去最多を更新
- ロードラベルの取得によるエリートランナーの招聘事業を実施
- マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2025-26（MGCシリーズ2025-26）に男女ともグレード3（G3）として加盟
- ボランティアリーダーの研修会を実施し、安全・安心な大会づくりに貢献



3 令和8年度の取組方針

- WAラベルレースおよびMGCシリーズ加盟大会として開催することで、国内及び海外のエリートランナーを招聘し、人々の注目度を高め、エントリー人数と協賛金の増加を図る
- 市民ランナーがトップレベルの選手と共に走ることができる魅力的で質の高い大会づくりを目指す
- コースの改善や海外ランナーの獲得、ボランティアリーダーの育成などを促進する
- 令和8年度は11月15日（日）実施予定（定員2万人）

[プロジェクト担当者のメッセージ]



たくさんの方にご参加いただき、大変賑わいのある大会となりました。今後も魅力ある大会づくりをしていきますので、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。



プロジェクトに関して：スポーツ振興課マラソン班 TEL：078-325-1430

プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト

1 目的・概要

プロスポーツクラブとの連携により、子ども達の試合観戦招待やプロ選手やスタッフから直接指導を受けられるスポーツ教室を開催するなど、子ども達がプロスポーツに触れる機会を充実

2 令和7年度の実施内容

プロスポーツクラブと連携し、子ども達の試合観戦招待や選手、スタッフによるスポーツ教室などを実施

【神戸ストークス】

- ・ **県内小中高生観戦招待**：22試合
- ・ 招待試合前に**子ども達によるパフォーマンス**
- ・ **大阪・関西万博**での**ライブビューイング**招待
- ・ 選手・スタッフによる**バスケ・チアダンス教室**：4回

【ヴィッセル神戸】

- ・ **県内高校生観戦招待**：1試合
- ・ 国立競技場での試合前に**兵庫県PRブース**出展

【コベルコ神戸スティーラーズ】

- ・ 元選手・スタッフによる**タグラグビー教室**：5回



県内小中高生無料観戦招待



県内高校生無料観戦招待



バスケットボール教室の様子



タグラグビー教室の様子

3 令和8年度の実施方針

- 引き続き子ども達の試合観戦招待やスポーツ教室などプロスポーツの力で兵庫をを元気にするプロジェクトを展開
- 連携対象クラブを拡大し、子ども達が様々な種目のプロスポーツに触れる機会を提供

【プロジェクト担当者のメッセージ】



プロスポーツの迫力を間近で味わった子ども達は、心から楽しんでいる様子でした！これからもプロスポーツが持つ力とワクワクを届けてまいります！企業様からの温かいご支援をお願いします。



子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト

1 目的・概要

子ども達がスポーツをする機会が減少していることから、一日に複数のスポーツが体験できるイベントを実施するなど、**子ども達が多様なスポーツに触れる機会を充実**

2 令和7年度の実施内容

子ども達が多様なスポーツに触れる機会を充実するため、
親子で多様なスポーツが体験できるイベントを実施

【ラグビー日本代表戦に係る地域活性化イベント】

試合当日に**子ども達が楽しめるラグビー体験会等**を実施（7月）

【防災スポーツ体験会】

防災行動を競技形式で学べる**防災スポーツ体験会**を開催（7月）
楽しみながら災害時に役立つ動きを学べるイベントとして実施

【ファングリラ2025】

ダブルダッチ、モルックイベント、アイスホッケー体験、フリースローなど
多種目を体験できるイベントを実施（11月）



ラグビー体験会の様子



防災スポーツ体験会の様子



ファングリラ2025



ファングリラ2025

3 令和8年度の実施方針

子ども達が多様なスポーツに触れる機会を提供

- 一日に複数のスポーツが体験（マルチスポーツ）できるイベント
- アーバンスポーツやeスポーツなど、新しいスポーツを体験できるイベント
- 親子で参加できるスポーツイベント

【プロジェクト担当者のメッセージ】



子ども達には、初めて体験する種目にも興味を持ってもらえました！
今後も子どものスポーツ機会を充実していきますので、企業様からの温かいご支援をお願いします。



ひょうごウクライナ支援プロジェクト

1 目的・概要

阪神・淡路大震災からの復興過程で掲げた「創造的復興」の理念を活かし、**リハビリテーション分野や、こころのケア分野の人材育成支援や、県内のウクライナ避難民の方々への生活支援**を実施

2 令和7年度の実施内容

- **ウクライナのリハビリテーション人材の育成研修（各4名ずつの計8名）**
脊髄損傷のリハビリテーションに従事するウクライナの実務者に向けた研修を、兵庫県立総合リハビリテーションセンターでR7.6、R8.1の2度実施しました。
- **こころのケアの人材育成研修に向けた取組**
こころのケアを必要とする避難民等への支援を目的に、研修実施に向け、兵庫県こころのケアセンターをはじめとした関係者間で継続的に協議を重ねています。
- **県内避難民への生活支援**
日常生活での困りごとなどを相談する窓口の設置や、自立した生活に必要な情報等の提供、支援団体と避難民が主体となり共創するイベントへの助成等を実施しました。



リハビリ研修の様子



イベントの様子

3 令和8年度の実施方針

- **ウクライナのリハビリテーションやこころのケア人材の育成研修**
引き続き、リハビリテーション分野の人材育成研修を実施するとともに、こころのケア分野の人材育成研修を実現に向けてウクライナ側との調整を継続します。
- **県内避難民への生活支援**
引き続き、避難民の方々の日常生活での困りごとなどを相談する窓口の設置や、自立した生活に向けた支援等を継続します。

[プロジェクト担当者のメッセージ]



兵庫県だからこそできるウクライナ支援への皆様からの温かいご支援をよろしくお願いします。

子ども食堂・ヤングケアラー等応援プロジェクト

1 目的・概要

経済的な理由により食事が十分に取れていない貧困家庭等の子ども達や家事・家族の世話を日常的に行う「ヤングケアラー」等への支援のため、**子ども食堂の開設支援**や**弁当の配食**、**ヤングケアラー世帯への食支援**を通じた本人の負担軽減や家庭全体へのフォローなどの取組を実施

2 令和7年度取組内容

(1) 子ども食堂開設支援

食事提供だけでなく、同じ境遇の子ども同士や地域のボランティアとの交流を図るなど、**子どもたちの心の拠り所となる子ども食堂の開設に必要な経費を補助**

〔実績〕 12 団体に補助

(2) ひょうごフードサポートネット・アウトリーチ推進支援

子ども食堂が実施する子どもたちの家への配食等に必要な経費を補助し、配食を通じ、家庭の見守りや福祉サービスとの連携を図り、**地域全体で子どもたちを支援**する取組につなげた

〔実績〕 8 団体に補助

(3) ヤングケアラー世帯への配食・福祉支援促進事業

ヤングケアラーの家事負担の軽減や**家庭の状況把握及び必要な支援へつなぐ取組**として配食支援事業を実施

〔実績〕 68世帯に配食（R8.1月末時点）

(4) ひょうごフードサポートネットHP運営事業

サポートネットのHPを運営し、サポーターの取組や食料支援情報を集約・発信

3 令和8年度取組方針

令和8年度も引き続き、子ども食堂やヤングケアラー世帯への支援を継続して実施していきます



〔プロジェクト担当者のメッセージ〕



皆様のおかげで、子どもたちの居場所をつくり、食支援を実施することができました。引き続き、温かいご支援をお願いいたします。

課題を抱える妊産婦プロジェクト

1 目的・概要

予期せぬ妊娠等で誰にも相談できずに思い悩み、住む家やお金がなくて困っている特定妊婦に対して、**出産から自立までに必要な費用の支援**と、実家のように過ごせる家庭（妊産婦ホストファミリー）との橋渡しとなる、**居場所を確保するための支援**を実施

2 令和7年度の実施内容

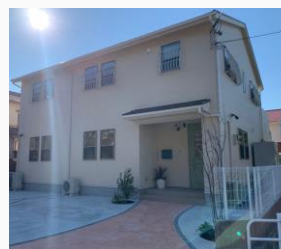
特定妊婦等居場所確保・自立支援事業（小さいのちのドアへの委託事業）等を利用している妊産婦を対象に支援を実施

〔出産から自立までの支援〕

- （１）出産準備支援：支援人数４人
- （２）資格取得支援：支援人数０人
- （３）自立準備支援：支援人数４人
- （４）就職支度支援：支援人数１人

〔居場所支援〕

妊産婦ホストファミリー養成研修の実施、受入準備に要する経費等：委託料10万円



マタニティホームMusubi



カフェスペース

3 令和8年度の実施方針

引き続き、特定妊婦等が、安心して出産でき、自立や夢が実現できるように応援プロジェクトを展開します。

〔プロジェクト担当者のメッセージ〕



一人でも多くの特定妊婦等を支えていきたいと思っております。
引き続き、温かいご支援をお願いします

児童養護施設や里親の下で育つ子ども応援プロジェクト

1 目的・概要

児童養護施設や里親の下で育つ子どもたちが、生まれ育った環境に左右されず、充実した学校生活を送り、**自立や夢を実現**するための努力を応援。また、将来の選択肢を広げる機会や学びや好奇心を満たす環境をつくり、**子どもたちが主体となって人生を歩めるよう支援**

2 令和7年度の実施内容

将来の選択肢を広げる機会	学びや好奇心を満たす環境	必要な情報を届ける仕組み
● 大学生との自然体験を通じて、大学生モデルを知る。 ● 大学生との交流を深め、具体的な進路選択を考える。 ● 予備校講師から大学受験・進学に向けての心構えを学ぶ。	● 小学生の学習塾代・高校生のクラブ活動費等を支援する。 ● 予備校等に通い、次年度の受験を目指す際の費用を支援する。	● 自立・就職支援セミナーや職場見学会を通じて、自立に必要な知識等の習得を支援する。
● 2泊3日の自然体験キャンプを実施（子ども26名・大学生5名参加） ● 約15施設で実施、大学等のキャンパスを活用して交流 ● 大学受験に向けたセミナーを2回実施。延べ児童数48名が参加。	● 児童養護施設等（23ヶ所）へ学習塾代、クラブ活動費を支援	● 自立支援セミナー計2回（18施設・延べ子ども82名参加）を開催 ● 就職支援セミナー1回（20施設・子ども54名）を開催



大学生との自然体験



大学受験・進学セミナー



ご寄附いただいた民間団体等とともに子どもたちの「やりたい」、「こうなりたい」を支援

3 令和8年度の実施方針

より若い時期から将来の選択肢を広げられる機会を創出するため、小学生を対象とした職業体験施設での体験機会を提供。

ひょうごケアリーバー応援企業認定制度に認定されている企業等と連携し、高校生を対象として就労体験活動の補助を実施

【プロジェクト担当者のメッセージ】



わくわくする体験、こんな大人になりたいな、と思う経験等、子どもたちが様々な形で自分にとっての「憧れ」を見つけ、その夢に向かって歩み進めることができるよう、ぜひご支援をよろしくお願いいたします。

小児筋電義手バンク応援プロジェクト

1 目的・概要

上肢欠損で生まれた子ども達の生活や可能性の制限がなくなるように、県内に留まらず、全国各地の子ども達に筋電義手の貸出・訓練を行い、**子どもたちのいろんな「出来る」**を実現

2 令和7年度の実施内容

- 新たに**4名**に小児筋電義手バンクより訓練用筋電義手の貸与を実施
- 現在、上記4名を含めた**28名の訓練を実施中**
- これまで、**85名の訓練**を実施してきました。

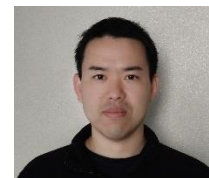


3 令和8年度の実施方針

- 訓練用の筋電義手を購入し無償で貸し出しを実施
- 成長に合わせて必要になるメンテナンス費用も寄附金を活用
- 県立総合リハビリテーションセンターにて使いこなせるまで長期に渡って訓練をサポート



[プロジェクト担当者のメッセージ]



いろんな「出来る」を叶えるお手伝い
のために引き続き企業様からの温かい
ご支援をお願いします

障害者（児）スポーツ・芸術文化等応援プロジェクト

1 目的・概要

自らの障害を乗り越え、スポーツや芸術文化活動に打ち込む輝く障害者や、施設で集団生活を送る障害児のために、**多様な経験・体験の機会を届ける支援**を実施

2 令和7年度の実施内容

① パラスリットへの支援

県内のパラスポーツを行う個人の支援のため、
子供用スポーツ用車いすを購入

② 障害児施設への支援

ボッチャ用具、テレビ、フットベースボール用ユニフォーム、
ミュージックベル、クラジカセ等の購入補助

これまでに購入した競技用具の例



3 令和8年度の実施方針

① パラスリットの支援（平成27年～）

障害者スポーツ交流館等に設置する**競技用具の購入や選手の用具購入支援**

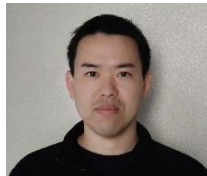
② 障害児施設への支援（令和3年～）

障害児入所施設における備品等の購入費や活動経費等を助成

③ 障害者芸術文化活動への支援（令和8年から拡充）

障害者の**映画鑑賞の機会や、音楽・舞台芸術の発表の場を創出**

[プロジェクト担当者のメッセージ]



パラスリットや障害児支援に加え、音楽・舞台芸術などの文化支援も拡充します。引き続き温かいご支援をお願いします。

子犬・子猫の飼い主探し等応援プロジェクト

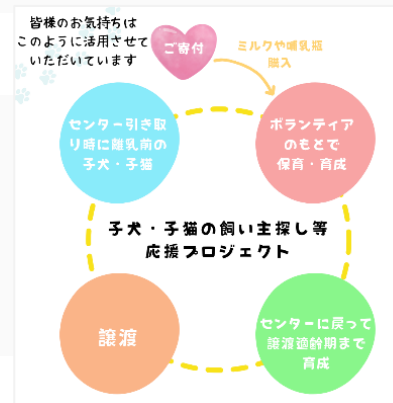
1 目的・概要

県内5カ所の動物愛護センターでは、ボランティアの方々の協力を得て、**離乳前の子犬・子猫を育て、譲渡につなげています**。いただいたご寄付は、子犬・子猫を育てるための粉ミルクや哺乳瓶、離乳食等の購入などに活用

2 令和7年度の実施内容

- 保育した子犬・子猫の頭数
平成28年事業開始以降、令和6年度末まで
子犬:48頭 子猫:1,223頭 合計1,271頭
- ボランティア数：22団体（令和6年度末時点）

その他、動物愛護センターどうぶつライブラリーの蔵書充実により、**子供たちが動物に関心を持つきっかけづくりや適正飼養に関する普及啓発**を行う

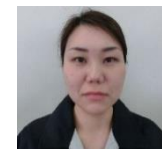


3 令和8年度の実施方針

譲渡の推進により、殺処分数の減少を目指すだけでなく、人と動物が共生する社会の実現のため、猫では完全屋内飼育、犬では「譲渡犬飼い主の会」を通じた連携など譲渡後もそれぞれの家庭で楽しく幸せに過ごす姿を発信することで引き続き、**適正飼養に対する県民の理解を深める普及啓発**に取り組んでまいります



[プロジェクト担当者のメッセージ]



いただきましたご寄付は大切に活用させていただきます。引き続き、企業様からの温かいご支援をお願いします

先天性サイトメガロウイルス感染症調査研究プロジェクト

1 目的・概要

新生児聴覚スクリーニング検査要再検査児における「**先天性サイトメガロウイルス感染症**」の検査や治療の実施状況等を把握し、**早期発見・早期治療に向けた県内の体制整備を推進**

【リーフレット】

2 令和7年度 of 取組内容

新生児聴覚スクリーニング検査で要再検査となったお子さんに対し、先天性サイトメガロウイルス感染症の検査が確実に実施され、必要なお子さんが迅速に治療に繋がれるよう、医療機関等に対し、理解促進を図りました

- 検討会、実態調査、研修会の実施
- 啓発資料を作成し、医療機関等に配布
- 検査・精査・治療の対応可能医療機関一覧を作成

＜各対応可能施設数の変化＞

	R6	R7
検査	39施設	53施設
精査	18施設	21施設
治療	10施設	13施設

増加！

3 令和8年度 of 取組方針

企業版ふるさと納税の制度を利用したプロジェクトとしては令和7年度をもって終了となりますが、今後も引き続き取り組んでまいります

NPO法人トーチの会 先天性トキソプラズマ＆
サイトメガロウイルス感染症患者会 作成

妊娠中の感染予防のための注意事項 - 11 か条

注意事項をよく心得て生活することにより、お腹の赤ちゃんに害を及ぼす可能性のある感染症にかかるリスクを大幅に減らします。

1. 石鹸と流水で、しっかり手を洗って下さい。

2. 子供と食器を共有、食べ残しを食べるのはやめましょう。

3. 肉は、しっかりと中心部まで加熱してください。

4. 無菌状態のミルクや、それから作られた乳製品は避けましょう。

5. ネコの汚れたトイレに触れたり、掃除をしたりは避けましょう。

6. げっ歯類やそれらの排泄物に触れないようにしましょう。

7. 妊娠中の性行為の際には、コンドームを使いましょう。

8. 母子感染症の原因となる感染症について検査しましょう。

9. 日群溶血性レンガ菌の保護者であるが検査してもらいましょう。

10. 感染源から自分と胎児の身を守るために、妊娠前ワクチンを受けましょう。

11. 感染している人と接触を避けましょう。

詳しい解説はトーチの会ホームページをチェック！
<https://tocho-cmv.org/>

NPO法人トーチの会
先天性トキソプラズマ＆サイトメガロウイルス感染症患者会
トーチの会
<https://www.tocho-cmv.org/>

その1 新生児聴覚スクリーニング検査を受けましょう。

1,000人に1〜2人は、生まれつき耳の聞こえに障害があるとされていますが、その障害を早く発見して、適切な援助をすることにより、言葉の発達を促し、情緒や社会性を育てることが出来ます。

産科医療機関では生まれた赤ちゃんを対象に、新生児聴覚スクリーニング検査を実施しています。
※ 検査費用の補償については、お住まいの市町村にお問い合わせください。

その2 検査結果で要再検査(リファア)の場合は、聴力の精密検査の前に先天性サイトメガロウイルス感染症の検査を受けましょう。

生後21日以内の赤ちゃんの尿検査で診断できます。

■ 新生児聴覚の主な原因のひとつに、先天性サイトメガロウイルス感染があります。
先天性サイトメガロウイルス感染は、生後21日以内の赤ちゃんの尿を採取し、検査することで診断できます。生後21日を過ぎると、先天性感染と後天性感染の区別が困難となるため、なるべく早く実施することが望めます。
※ 兵庫県では、なるべく早く生後21日以内に確実に実施するため、初回の新生児聴覚スクリーニング検査要再検査(リファア)での尿検査(CMV検査)を推奨しています。

新生児聴覚スクリーニング検査・要再検査(リファア)

先天性サイトメガロウイルス感染症の検査
(尿サイトメガロウイルス抗原検査)【生後21日以内】

聴覚の精密検査

聴覚にわずかな異常がある場合は生後2ヶ月以内に検査を開始

■ 先天性サイトメガロウイルス感染だった場合、抗ウイルス治療という選択肢があります。
赤ちゃんの体内にサイトメガロウイルスが繁殖するのを抑える抗ウイルス治療薬(バルガンシクロビル)を用いることで、聴力の改善や進行の抑制が期待できます。療育指導(治療期：生後2ヶ月以内)で治療を行うことで、小児科と連携し相談の上で進めてください。
(2023年〜最新先天性サイトメガロウイルス治療薬の臨床試験が実施中)

新生児聴覚スクリーニング検査で要再検査(リファア)の場合は、聴力の精密検査の前に先天性サイトメガロウイルス感染症の検査の実施が推奨されています。
出産医療機関で検査ができない場合は、検査を受けられる医療機関を紹介してもらってください。
(2018年〜生後21日以内の先天性サイトメガロウイルス感染症治療薬の臨床試験)

1日2回、赤ちゃんに飲ませるドラッグストアの調剤です。

兵庫県保健医療政策推進課 TEL:078-341-7711 (代表)

【県ホームページ】



【プロジェクト担当者のメッセージ】



令和7年度はご寄付により多くの取組みを行うことができました。温かいご支援、ありがとうございました。

神戸ルミナリエ開催応援プロジェクト

1 目的・概要

阪神・淡路大震災犠牲者への慰霊と鎮魂の意を込めるとともに、**震災の記憶を後世に語り継ぎ、神戸の希望**を象徴する行事として「神戸ルミナリエ」を継続的に開催

2 令和7年度の実施内容

第31回神戸ルミナリエは、「神戸の鼓動、光の物語」を作品テーマに、**2026年1月30日（金）～2月8日（日）の10日間**開催をしました。メイン会場3か所（東遊園地、旧外国人居留地、メリケンパーク）のほか、北野町や新港町などにも作品が設置され、**約233万人の方が来場**されました。

また、有料エリア特別鑑賞券、募金及び有料エリア入場時に配布する「**神戸ルミナリエ クーポン**」を提示すると、**参画店舗で特典や割引が受けられるキャンペーンを実施**など、神戸のまちを楽しむ取り組みも実施しました。



3 令和8年度の実施方針

阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂と大震災の教訓を語り継いでいくとともに、まちのさらなる魅力発信と神戸地域への集客を図るため、R7年度の実施結果等をもとに、R8年度の実施について検討されております。

【プロジェクト担当者のメッセージ】



阪神・淡路大震災犠牲者への慰霊と鎮魂の意を込め、震災の記憶を後世に語り継ぐ「神戸ルミナリエ」開催に向けて、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

若者起業人材育成プロジェクト

1 目的・概要

地域・社会課題解決にイノベーションをもたらす力を潜在的に秘めている若者にとって「**起業**」が「**就職**」に並んで身近な選択肢となることを目指し、県内大学にて起業人材育成講座の実施を支援

2 令和7年度の実施内容

- 以下 3 校にて講座を実施し、延べ**135名**が起業に関する講座を受講。

関西学院大学：62名、 兵庫県立大学：20名、 神戸大学：53名

● ビジネスアイデア事例

- ・ロスフラワーを活用したメッセージ付き押し花の販売
- ・中小企業等のDXシステム構築支援
- ・寺院存続確保に向けた寺のサウナ事業 等



関西学院大学

『KWANSEI GAKUIN STARTUP
ACADEMY』



兵庫県立大学

『スタートアップ人材育成シリーズセミナー』



神戸大学

『起業・スタートアップセミナー/起業演習/知財セミナー』



3 令和8年度の実施方針

令和8年度は県内での起業に興味を持つ大学生へ起業に向けた実践的な学び獲得の機会を提供し、若者の**起業へのチャレンジを後押し**していく。

[プロジェクト担当者のメッセージ]



令和7年度はご寄附によりたくさんの方に講座受講いただくことができました。引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします

HYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト

1 目的・概要

人口減少・少子化が進む中、重要となる個の力。留学先で個々の学びを深めるためにチャレンジする若者を支援し、**兵庫で学び、グローバルな視点・能力を持ち国際的に活躍する若者の育成**を目指す

2 令和7年度取組内容

兵庫県内の国公私立の高等学校等に在籍する高校生を対象に留学支援を実施

● 支援人数

20人 ※応募者74人

● 地域別内訳

欧州：4人 アジア：7人 大洋州：5人 北米：4人

● 開催行事

6月 留学前研修会

11月 帰国後報告会



● 留学分野



6人

スポーツ

本場強豪校の練習に参加 等



1人

芸術

本場プロダンスレッスンの受講



10人

社会貢献

社会課題調査やボランティア活動 等



1人

地域産業

県内の特産品を海外で発信



2人

ビジネス

パティエスクールで職業体験 等



3 令和8年度取組方針

対象を大学1年生にも広げ、支援人数を段階的な拡充して実施

留学期間：約1ヶ月（7～8月頃）

補助人数：高校生30人程度、大学1年生5人程度

補助金額：上限500千円/人

対象者：県内の国公私立の高等学校等に在籍している高校生
県内の国公私立の大学等に在籍している大学1年生
※いずれも、生計維持者が応募締切日に兵庫県内に住所を有していることを要件とする

【プロジェクト担当者のメッセージ】



目標に向かってチャレンジする若者を応援するプロジェクトに温かいご寄附をよろしくお願いします。

但馬地域におけるイヌワシ・エイドプロジェクト

1 目的・概要

「但馬イヌワシ・エイドプロジェクト」では、イヌワシのみの保護を目指すのではなく、**イヌワシを頂点とする多様な生態系を保全すること**を目標に、イヌワシの餌動物であるノウサギ等の餌の確保や貴重生物の保護を図るとともに、イヌワシの餌場を新たに創出すること等、**イヌワシをシンボルとした生態系の保全活動**を実施

2 令和7年度の実施内容

イヌワシの餌場再生など地域の生態系の再生・保全を図るため、

- シカ柵の設置（約600m分）
- ササ原の手刈り（実施面積：1ha）を実施しました。

3 令和8年度の実施方針

シカの食害が依然として深刻な状況にあり、イヌワシの餌動物であるノウサギ等の餌の確保のため、令和8年度も、引き続き事業を実施し、地域の生態系の適切な保全に取り組んでまいります。



ササ原の手刈り



シカ柵の設置



県内2つがいまで減少してしまったイヌワシ



ススキ草原がよみがえりつつある上山高原

[プロジェクト担当者のメッセージ]



地域住民主体の地元運営組織を中心に、都市部住民、団体・NPO、事業者及び行政の参画と協働により取組を進めています。

活動の継続のため、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

「豊かで美しいひょうごの海」を未来へつなぐプロジェクト

1 目的・概要

豊かな海づくりを漁業者はもとより、海に関する幅広い分野の事業者や県民の理解と参画のもとで実施することを目的として「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を令和5年7月に設立。**「豊かで美しいひょうごの海の創出と継承」を県民総参加の運動として展開**していくとともに、SDG s 達成に向けた取組を推進

2 令和7年度の取組内容

県民会議の会員団体等が実施する漁業体験、生き物観察会や魚食普及などのイベント開催、調査・研究活動など、豊かな海づくりに資する取組を支援しました。（合計12団体）

また、大阪・関西万博(民間パビリオン等)での情報発信や、ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催、情報掲示板アプリ「うみまっぷ ひょうご」の運用を通じ、豊かな海づくり活動への県民参加や、活動の理解促進の機会を設けることができました。

さらに、大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)として藻場創出や、大阪・関西万博(大阪ヘルスケアパビリオン等)での情報発信、普及啓発にも取り組みました。



3 令和8年度の取組方針

令和7年度に運用開始した情報掲示板アプリ「うみまっぷ ひょうご」を活用し豊かな海づくり活動への県民参加や、会員間の連携強化に取り組みます。

また、引き続き豊かな海づくりに資する取組への支援や、ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催など、**「豊かで美しいひょうごの海」の実現に向けて、活動の輪の拡大に努めます。**

[プロジェクト担当者のメッセージ]



豊かな海づくり活動の充実のため引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。



森林動物研究センター魅力発信等強化プロジェクト

1 目的・概要

多くの方に野生動物に対する関心・正しい知識を持ってもらえるよう、**仮想空間上**で、野生動物の生態を学び、体験していただく機会となるような**3D映像の作成**を進める

2 令和7年度の実施内容

当センターに蓄積されている自動カメラに写った野生動物の様子や、実際の県内の地形の映像・データを3D映像にする作業を進めています。

＜作成する映像のイメージ＞

- ・シカやイノシシの獣害柵アプローチの様子
- ・ツキノワグマの実際の行動



シカ



イノシシ



クマ

3 令和8年度の実施方針

令和7年度までの作成分に加え、新たな獣種や行動パターンが異なる映像アイテムを増やせるよう引き続き実施します。

＜今後の予定＞

- ・兵庫県内で農林漁業や生活への被害をもたらす主な4獣種（シカ・イノシシ・クマ・サル）の行動に係る動画作成のほか電気柵の設置方法等、**効果的な被害対策手法**に係る動画作成をしていきたいと考えています。



〔プロジェクト担当者のメッセージ〕



引き続き、多くの方に野生動物や被害対策に関心を持ってもらえる取組をすすめていきますのでご理解、ご協力を何卒よろしくお願いします。

「森林の恵み」をフルで活用できる森林林業の人材養成プロジェクト

1 目的・概要

森林には多様な働きがあり、私たちの暮らしに深くかかわっています。**県立森林大学校の機能を強化することで、森林が持つ様々な恵みをフル活用できる人材の育成**を目指す

2 令和7年度の実施内容

- 宍粟市にある県立森林大学校で学ぶ学生がより充実した環境で学習できるよう、機器や備品を購入
- 購入した物品は、県民の皆様が参加する講座やオープンスクール、イベント等でも活用し、森林の大切さについて、お伝えすることができました。

【購入物品（一例）】

- ・大排気量チェーンソー(70cc)
- ・木材加工学実習機材
(レーザー加工機、卓上マルノコ)
- ・学生製作の木製教卓（演台）
- ・電子黒板
- ・林業技能検定教本 など



伐木チャンピオンシップ出場
に対応した大排気量
チェーンソー



木材加工学実習で
の木製教卓製作



林業技能検定受験の
ための教本



伐木チャンピオンシップin鳥取への出場



卒業研究発表会(だれでもオープンキャンパス)で演台を利用

3 令和7年度の実施方針

引き続き、県立森林大学校の機能を強化し、森林林業の即力となる次世代のリーダーの育成を図る。

プロジェクト担当からのメッセージ



新技術機器の導入等、学習環境が充実し、学生たちも大変喜んでます。引き続き、暖かいご支援をお願いいたします。

播磨灘の牡蠣応援プロジェクト

1 目的・概要

令和7年度の**播磨灘産牡蠣の不漁**を受け、牡蠣の主要産地である西播磨地域に誘客を図るため、**観光コンテンツの磨き上げや視察型招待ツアー等を実施**する。また、今後も「播磨のかき」が短期間で立派に成長するよう、**へい死した牡蠣殻等の清掃活動を支援**

2 令和7年度の実施内容

【観光誘客支援】

- 観光コンテンツや宿泊施設事業者等を対象とした**セミナーを開催**し、基調講演やワークショップを実施
日程：2月10日 参加者：96名（うちオンライン参加50名）
- ツアー販売に向けた支援として、国内外の旅行会社を対象とした、**視察型招待ツアーを実施**
日程：3月9日～10日 参加事業者：10者



西播磨周遊観光ブラッシュアップセミナー



セミナーでのワークショップの様子

3 令和8年度の実施方針

【海底清掃活動支援】

- 令和7年度に発生したマガキの大量へい死により、マガキ漁場の海底にへい死した牡蠣殻等が堆積し、**漁場環境の悪化が懸念**
- 今後も短期間で立派に成長する「播磨のかき」が育つよう、**海底清掃の取組を支援**

【プロジェクト担当者のメッセージ】



地域の皆様とともに、西播磨ならではの魅力を発信することができました。今後はツアー造成につなげ、多くの方に足を運んでいただけるよう取り組んでまいります。温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

明石公園第一野球場・陸上競技場リニューアルプロジェクト

1 目的・概要

県下有数の古い歴史をもつ運動施設であり、全国高等学校軟式野球選手権大会や陸上競技公認大会などが開催される等、多くの県民に親しまれている明石公園第一野球場（明石トーカロ球場）および陸上競技場（きしろスタジアム）は、**経年劣化により老朽化が進行している**ため、リニューアルを実施し、**安全かつ安定的な利用環境の維持**を図る

2 令和7年度取組内容

- 第一野球場（明石トーカロ球場）
 - ① スタンド内部の居室を改修
 - ② トイレを洋式化・バリアフリー化



R8.2末時点



使用イメージ

バリアフリー席設置(R7年度)



改修前



改修後

トイレの洋式化(R7年度)

3 令和8年度取組方針

- 陸上競技場（きしろスタジアム）
 - ・ 陸上競技場スタンド（昭和47年度完成）の今後の対応検討
 - ・ 対応検討を踏まえた措置の実施

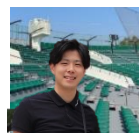


きしろスタジアム スタンド



きしろスタジアム スタンド内トイレ

[プロジェクト担当者のメッセージ]



両施設を維持し、野球・陸上競技文化を継承・発展させるため、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

西播磨の山城登山道整備プロジェクト



西播磨遊記山城HP

1 目的・概要

ポストコロナ時代における手軽で親しみやすいレジャー、また、健康づくりにも資する山城登山を多くの方に楽しんでもらえるよう、**案内板や標識の整備を行う地元団体やボランティアグループへの支援**を通じて、山城登山の環境の改善に取り組むとともに、山城の認知度の向上や地域住民のシビックプライドの醸成に取り組む

2 令和7年度の取組実績

- 茶臼山城・坂越浦城のトレッキングマップと幟旗の作製
(さこし船岡を良くする会)
- 尼子山城（赤穂山城・岩山3山）のPRクリアファイル作製
(坂越を元気にする会)
- 感状山城のPRクリアファイル作製
(感状山城ガイドの会)
- 楯岩城のPRパンフレット作製
(楯岩城ガイドの会)
- 上月城の幟旗作製
(上月地域づくり協議会)



紅葉丸 夢葉丸 月光丸



茶臼山城幟旗
(さこし船岡を良くする会)



上月城幟旗
(上月地域づくり協議会)

3 令和8年度の取組方針

令和7年度に引き続き、地域の誇りである山城をもっと多くの方々に知ってもらい、訪れてほしいとの思いを実現するため、皆様からの寄附金を、**西播磨の山城のPR**や山城を訪れた**来訪者へのおもてなしの充実**に活用します

[プロジェクト担当者のメッセージ]



今年度は、企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで西播磨の山城PRや来訪者へのおもてなしの充実に活用できました。引き続き皆様からの温かいご支援をお願いいたします。

県立学校環境充実応援プロジェクト

1 目的・概要

教育の一層の活発化を図るため、学校毎に寄附金活用事業を設定、学校機能向上、学校の特色づくりや部活動の応援、教育環境の充実等を実施

2 令和7年度の実施内容

- 県立学校の児童・生徒がより充実した学校生活を送れるよう、環境の充実を推進
- 県立学校ごとに特色ある寄附金活用事業を設定し、各校ホームページ・ちらし等で募集
- R7年度48校で事業実施
事業例) 部活動のトレーニング機器や遠征支援、実習機器の充実、学校周年記念事業…等

3 令和8年度の実施方針

- いただいた寄附は、教育関連の設備等の導入、部活動への支援、特色ある取組への支援等に活用させていただきます。
- 寄附の用途については、各校が設定している事業単位で指定いただくことができます。
- 学校を指定しない寄附も受け付けています。



部活動支援（網干高校）



実習機器（洲本実業高校）

[プロジェクト担当者のメッセージ]



温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。
引き続き児童・生徒の学校生活充実のため応援をお願いします。

「体力アップひょうご」サポートプロジェクト

1 目的・概要

児童生徒の健康の保持・増進や体力の向上を図るため、学校教育活動における体育・スポーツ活動の積極的かつ特色ある優れた実践を行っている小中学校を「**体力アップスクール**」として表彰し、**体力向上に向けた取組意識の向上**を図る

2 令和7年度の取組内容

健康増進、体力向上に向けて特色のある取組を実施した県下小中学校 7 校を体力アップスクール優秀校として表彰し、副賞として**表彰校がさらに意欲的に取り組むために、体育器具等を贈呈する。**

【表彰校及び贈呈物品】

神戸市長田中学校
メッシュベスト

稲美町立加古小学校
ライトドッジボール・ソフトバレーボール
サッカーボール・スマイルボール

姫路市立白鷺小中学校（前期課程）
ソフトサーブ軽量
ヴァンタジ



丹波市立吉見小学校
スマイルボール
ソフトバレーボール

洲本市立加茂小学校
バスケットボール・鉄棒くりんベルト
両面表示ゲーム得点版

南あわじ市立湊小学校
セストボール
ソフトスライドサッカー

淡路市立津名東小学校
サポートパッド・ソフトバレーボール
電子ホイッスル・巻尺



3 令和8年度の取組方針

表彰校の特色ある実践を周知し、子どもたちの健康増進と体力向上を持続的に推進していく。

【プロジェクト担当者のメッセージ】



子どもたちは元気いっぱい体を動かし、笑顔で活動に取り組んでいます。こうした子どもたちの姿を今後も継続して支えていくために、温かいご支援をお願いします。

兵庫県GIGAスクール運営支援センター設置プロジェクト

1 目的・概要

県立学校でのICT利活用を推進し、インターネット環境やタブレット端末、電子黒板を活用した授業を行うため、**専門的なサポート体制を整え、子どもたちや教員がICTを日常的に活用できる環境を目指します。Z世代・若者世代が輝く、社会全体で子どもの育ちを支える取り組みを推進**

2 令和7年度の実施内容

県立学校での**子どもたちや教員のICT利活用をサポートするヘルプデスク機能の充実**

- 学校からのICT機器等の不具合の問合せ等への対応
- 学校の教員及び児童生徒用の教育用クラウドサービスのアカウントの管理等の業務
- 電話や遠隔作業で対応できないトラブルについて、県立学校への訪問支援
- 問い合わせ件数 988件（R8.2.28時点）

3 令和8年度の実施方針

県立学校における校内ネットワーク環境や教育用端末等、急速にICT環境整備が進む中、**学校DX（デジタル技術を活用し児童生徒への教育を更に充実させること）に向けた課題を解決するため、導入したICT機器の設定、運用等を支援**

- 学校のシステム基盤全般の最適化
（通信帯域の確認等）
- 端末を含めた学校のICT活用支援
（校務の効率化、端末活用等）
- 高等学校等における端末の日常的な活用
（ICT活用指導力向上に向けた教員への支援）

[プロジェクト担当者のメッセージ]



子どもたちや教員のICT活用を日常化し、学びの新時代を応援するために、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします

お米de部活応援！プロジェクト

1 目的・概要

県内高校生に県産米を提供するとともに、ごはん食の栄養講座を実施することで、**お米を通じて部活動に励む高校生を応援**。
また、今後進学や就職による一人暮らしを控えている高校生が、親元を離れてもごはん食が定着するよう、お米・ごはん食の重要性を伝えていく

2 令和7年度の実施内容

- 事務局から実施校へお米を提供し、参加部員が**部活動の前後にごはんを補食**。
- 栄養士を実施校へ派遣し、参加部員がお米・ごはん食の重要性や**栄養学全般に関する講座を受講**。
- 実施校での活動の様子を取材、取材内容をSNS等で発信。
- 実施校にて活動報告動画の作成。
- 県内の高校30校へお米を提供し、合計1,546人の部員が参加。



栄養学講座



取材の様子



部活動の前後におむすびを補食する高校生

3 令和8年度の実施方針

引き続き、お米を通じて部活動に励む高校生を応援するだけでなく、ごはん食の重要性の理解醸成を推進していく。

[プロジェクト担当者のメッセージ]



部活動に頑張る高校生を応援するため、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

県立美術館・博物館等応援プロジェクト

1 目的・概要

県立美術館・博物館等の施設における利便性向上など、施設の特色に応じた募集項目を設定し、**身近に芸術文化に親しむことができる取組**を推進する

2 令和7年度取組内容

● 県立美術館：「コレクション展魅力向上事業」

〔主な取組実績〕 コレクションの修復作業

● 県立歴史博物館：「着付け体験事業」

〔主な取組実績〕 着付け体験等関連小物の購入



(美術館)
新宮晋「遙かなリズム」
メンテナンス



(歴史博物館) 檜扇



(人と自然の博物館)
ゆめはく号

● 県立人と自然の博物館：

「ひとはくkidsキャラバン応援プロジェクト」

〔主な取組実績〕 「ゆめはく号」車体ラッピング塗装の貼替

● 県立図書館：「県立図書館所蔵資料充実事業」

〔主な取組実績〕 県内の古書や地図など郷土資料の購入

● 県立考古博物館：「大中遺跡いこいの空間プロジェクト」

〔主な取組実績〕 大中遺跡公園の環境整備



(図書館)
郷土資料コーナー



(考古博物館)
住居の復元の様子

3 令和8年度取組方針

引き続き、県立美術館・博物館等において、身近に芸術文化に親しむことができる取組を推進していきます。

〔プロジェクト担当者のメッセージ〕



引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

コウノトリ野生復帰プロジェクト

1 目的・概要

「人と自然が共生するふるさと兵庫」の実現。コウノトリが自活できる豊かな自然環境を構築する

2 令和7年度の実施内容

- 野生復帰に向けた放鳥拠点の調査・整備、馴化(環境適応)、野生復帰のための訓練
- 人とコウノトリとの共生を推進するための普及啓発

〔主な実施実績〕

- 1 コウノトリの個体を識別するための足環を購入
- 2 コウノトリへ足環を装着する作業に必要な高所作業車のレンタル料
- 3 コウノトリの交通事故を防ぐため、安全運転を呼びかけるステッカーの作成



個体識別用の足環



交通安全ステッカー



足環装着時の
高所作業

3 令和8年度の実施方針

引き続き、「人と自然が共生するふるさと兵庫」を目指し、コウノトリが自活できる豊かな環境づくりを推進していきます。

コウノトリの野生復帰に向けた取り組みを進めるとともに、収集した情報を普及啓発に活用し、環境教育を支援することで、コウノトリに対する理解を深めていきます。

〔プロジェクト担当者のメッセージ〕



コウノトリの野生化を実現するため、引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

犯罪被害者支援プロジェクト

1 目的・概要

兵庫県警察では、ふるさとひょうご寄附金を活用し、（公社）ひょうご被害者支援センターによる**面接相談**や**渉外広報活動**に必要な費用の支援を実施



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
ギョつとちゃん

2 令和7年度の実施内容

- 面接相談実施件数 62件（従事者数：延べ107人）
被害者支援に精通した弁護士やカウンセラーの紹介、付添い支援などへの橋渡し
- 被害者支援キャンペーン等の広報啓発活動 27回
- 広報啓発物品の製作



3 令和8年度の実施方針

引き続き犯罪被害者に対する支援活動を推進
実施主体：（公社）ひょうご被害者支援センター

- 面接相談
 - ・ 相談内容の聴取や情報の提供、アドバイス等を実施
 - ・ ニーズに応じた必要な支援内容をコーディネート
 - ・ 関係機関と連携し、途切れのないきめ細かな支援を提供
- 渉外広報活動
 - ・ 各種イベントにおける相談窓口の周知、犯罪被害者支援の必要性等を発信
 - ・ 県民の理解の増進、協力の確保へ向けた取組
 - ・ 社会全体で犯罪被害者等を支える気運の醸成

【プロジェクト担当者のメッセージ】



皆様のご支援が犯罪被害者支援の発展や社会貢献活動を通じた企業価値の向上につながります。
引き続き企業様からの温かいご支援をお願いします。

暴力団事務所撤去応援プロジェクト



1 目的・概要

兵庫県警察では、「暴力団のいない安全で平穏な兵庫県」を目指して、**ふるさとひょうご寄附金制度を活用し、県民が負担することとなる県内の暴力団事務所の撤去活動に必要な訴訟費用の支援**に取り組んでいます。「暴力団事務所撤去応援プロジェクト」は、暴力団を相手に訴訟を行おうとする勇気ある付近住民の皆様に対して、訴訟費用を支援する取組

2 令和7年度の実施内容

令和7年度は、**指定暴力団六代目山口組傘下組織**の暴力団事務所使用差止請求訴訟に係る費用として活用し、対象となる暴力団事務所の売却を前提とした和解を成立させ、事務所撤去に成功しました。

3 令和8年度の実施方針

暴力団事務所は、暴力団の活動拠点であり、対立抗争時には攻撃対象にもなるため、付近に居住する皆様に恐怖を与えるなど、非常に大きな脅威となっています。兵庫県警では、引き続き、**付近住民の皆様が行う暴力団事務所使用差止請求訴訟に要する費用を支援し、経済的な負担を軽減、解消することで、事務所撤去活動を推進して県民の皆様の平穏な生活を取り戻します。**

引き続き皆様からのこころあたたかいご支援ご協力をお願いします。



暴力団事務所の完全撤去を目指して！

暴力団のいない安全で平穏な兵庫県を！



子供・女性・高齢者見守り活動支援プロジェクト

1 目的・概要

登下校時などにおける「見守る目」を増やすことによる子供の安全確保、防犯ボランティアの拡大、企業がCSR活動を取り組みながら、**防犯の視点を持って行う「ながら見守り」**を推進

※「ながら見守り」・・・日常生活（散歩、買い物、通勤、花の水やり等）をしながら防犯の視点を持って行う活動

2 令和7年度の実施内容

- 地域安全まちづくり推進員研修会で、「ながら見守り」についての講話を開催
【実施場所】 県内10箇所の県民局・県民センター
【参加者数】 約600名が参加
- パンフレット・グッズなどを作成し、各講話・キャンペーンにおいて配布

3 令和8年度の実施方針

子供・女性に対する犯罪や声かけなどの前兆事案や高齢者を狙った犯罪も依然として発生している。

そのため、新たな取組として犬の散歩をしながら行う「わんわん見守り隊」活動の展開と、デジタルサイネージを活用した効果的な情報発信を組み合わせ、見守りの担い手の裾野を広げ、地域住民・企業等と連携しながら地域全体の防犯力・安心感の向上を図る。



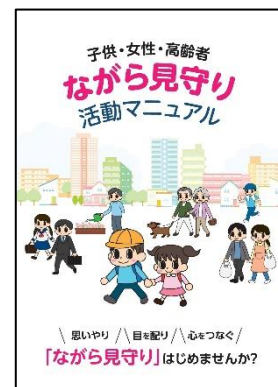
【地域安全まちづくり推進員研修会】



【ポスター】



【防犯グッズの一例】



【マニュアル】

【プロジェクト担当者のメッセージ】



ご寄付は、より良い活動を行うために活用させていただきます。皆さまの温かいご支援が、地域の安全安心につながりますので、ご協力のほど、お願いいたします。